

いふに氏一乃二子石を肥後守に付めふ（要角）  
之を（之を）肥後守に付めふ（之を）をわつて  
酒井家と示し合を氏に丸と（肥後守）  
代して領之肥後守病死の後丸は一乃石  
に收まゝる氏に酒井家の領より仍る  
後酒井忠順（石見守）にふ賜とて氏内物語  
附録より見へり

### 一長瀬館

山形の小を離れ、事七里街及の西にて  
楢島の五所なり、鎮大平記當山勢の内

長瀬とあり、是なり、或人曰、義光の祖先  
の因一代、家子氏一、長瀬と稱す、吉年  
中の事とて、當時、沙公料よりて、五子石  
余の陳屋なり、享保八年、百姓一揆を  
山形領に、堀田伊豆守、征伐、作付、七代  
長瀬、騷初といふ、是なり

### 一銚延館

山形より、水より、十里余あり、鎮大平  
記、當山勢の内、一銚延とあり、是なり、義光  
相記、初、氏に、一乃二子石銚延、誠前とあり